



**UNWTO 駐日事務所・観光庁・（一財）運輸総合研究所 共催による
シンポジウムの開催
「持続可能な観光地域経営の推進に関するシンポジウム」**

近年、観光客の増加に伴い、地域社会や環境への負荷が増大しており、これらの課題に対応するためには、観光振興と地域の持続可能な発展とのバランスを考慮した持続可能な観光の推進による観光政策の質的転換が求められています。

我が国でも、観光庁は持続可能な観光に向けた取組を本格化し、2020年6月に「日本版持続可能な観光ガイドライン」を策定して複数地域でモデル事業を実施しています。また、UNWTO 駐日事務所及び（一財）運輸総合研究所は、「持続可能な観光地域経営の推進に関する調査研究」を共同で実施しています。

本シンポジウムにおいては、新型コロナウイルス感染症による影響からの回復等も踏まえた持続可能な観光地域経営の世界的潮流、観光庁や先進地域の取組について情報共有することを目的とし、UNWTO 駐日事務所、観光庁及び（一財）運輸総合研究所の共催にて開催します。

【日 時】 2020年12月21日（月）13：30～16：30（受付13：30～）

【場 所】 ベルサール御成門タワー （※オンライン併用）

（東京都港区芝公園1-1-1 住友不動産御成門タワー3F）

【定 員】 会場：150名、オンライン：定員なし

【プログラム（予定）】

挨拶：（一財）運輸総合研究所 会長 宿利正史

基調講演 1：観光庁 長官 蒲生篤実（予定）

「持続可能な観光地域経営の推進に向けた観光庁の取組」

基調講演 2：UNWTO 本部 持続可能な観光部 部長 ダーク・グラッサー部長

（※ビデオレター）

「持続可能な観光地域経営推進国際ネットワーク（INSTO）の概要・効果、ウィズコロナにおいて求められる取組等」

取組事例 1：持続可能な観光地域経営の推進に関する調査検討委員会事務局

「持続可能な観光地域経営の推進に関する手引書の作成について」

取組事例 2：UNWTO 駐日事務所 副代表 鈴木宏子

「持続可能な観光地域経営の推進に関する現状と課題

～ヒアリング調査より～」

取組事例 3：岩手県釜石市副市長 窪田優一、北海道ニセコ町町長 片山健也

パネルディスカッション：UNWTO 駐日事務所、観光庁、事例発表自治体

総括・モデレーター：（一財）運輸総合研究所 所長 山内弘隆

閉会挨拶：UNWTO 駐日事務所 代表 本保芳明

【申込み URL】

<https://www.event-form.jp/event/12246/symposium1221>

<※申込期限：12月16日（水）>



【問い合わせ】

国連世界観光機関（UNWTO）駐日事務所

担当：夏秋・西原

電話：0742-30-3880 E-mail: info@unwto-ap.org